

## 「父よ、あなたのお名前を」

マタイの福音書 6 章 9～15 節



「私たちの父よ」と呼びかけて、イエスキリストが私たちに最初に祈るようにと教えられたのは、「神の名が聖なるものとされますように」という祈りです。

神には名があるのです。その名は、神がどのようなお方であるのかを表しています。そのような神の名が「聖なるものとされる」、つまり私たちの人生において神がその名にふさわしく尊ばれるということです。私たちの人生において神が神とされればされるほど、私たちもまた人らしく生きることができます。

“ですから、あなたがたはこう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。』”

9-10

### ① 神は「名」を持っておられる

“神はモーセに仰せられた。「わたしは『わたしはある』という者である。」”出エジプト 3:14

“「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」それは、訳すと「神が私たちとともにおられる」という意味である。”マタイ 1:23

### ② その「名」のとおり、神を神とする

“それから神は次のすべてのことばを告げられた。「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。あなたは自分のために偶像を造ってはならない。…」”出エジプト 20:1-

“アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエと呼んだ。今日も、「主の山には備えがある」と言われている。”創世記 22:14

### ③ 神を神とする時に、神の子としての人生が始まる

“だが今、主はこう言われる。ヤコブよ、あなたを創造した方、イスラエルよ、あなたを形造った方が。「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。あなたが水の中を過ぎるときも、わたしは、あなたとともにいる。…」”

創世記 43:1-

“イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。』”22:37-

### ○思い巡らしてみましょう

- ・あなたが、自分の人生においてもっとも崇められてほしい神の名とは、どのような名ですか。たとえば「アドナイ・イルエ（備え主）の名があがめられるように」「インマヌエル（ともにおられる）という名が私の人生で聖なるものとされるように」というように祈ってみませんか。